

令和 7年 3月 6日

足立区立栗原北小学校
校長 石川 雅章 様

足立区立栗原北小学校
開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書まとめ

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- ・めざす学校像、児童像はおおむね良い感じに進んでいる様に思う。教師像については、若い先生が多く、児童との距離感が近く温かさを感じられる。
 - ・児童は充実した学校生活を送っているように見える。
 - ・教職員については、クラスに合わせて工夫した授業をしている。
 - ・登校時間は守らせることが大事。理由がない遅刻は早いうちに保護者に連絡してはどうか。遅刻になれてしまうと生活リズムを戻すのが大変ではないか。遅刻する子どもには保護者の同伴が安全だと思う。
 - ・中休みの縄跳びやマラソンに向けての練習はとても良い。教職員が一丸となって子ども達を校庭に誘導してくださりありがとうございます。
 - ・タブレットの使用ルールは学校全体で必要だと感じる。タイピングの前に個人の課題で遅れている学習をした方が良いのではないか。
 - ・OJTの浸透もあって先生方の授業力は向上していると思います。
 - ・重点目標に向けた取組は概ね達成出来ていると思う。
 - ・保護者の立場から、宿題のAIドリルは、利点・欠点を感じていました。校長先生もおっしゃっていた事と同じようなことを思っていたので引き続き、プリント学習を併用していただけると安心です。
 - ・児童については明るく元気に挨拶する子どもが多いと感じています。下を向いて歩く子は少なく、児童たち同士が声を掛け合って輪を作っているように見えます。休み時間は教室も廊下も校庭からも児童たちの活気を感じています。しかし、帽子をかぶらず登校する児童、髪を染めている児童が増えているように見受けられます。日頃から先生方も取り組んでいらっしゃると思いますが、児童たちには見た目の個性も大切かもしれないが中身を磨くことの魅力や周りとの協調する事の大切さ、を伝えていって欲しいと感じます。
- 学習発表会ではどの学年も素晴らしく日々の勉強の成果を出せていたと感じます。声も大きく堂々と誇らしい姿を嬉しく見ていました。また社会科見学や演劇鑑賞、出前授業なども充実しており、児童たちが学校内外で様々な体験や学びが多かったのは良い思い出にもなりますし勉強になったと思います。様々な角度から子どもたちへの指導をありがとうございます。
- 学習面に置きましてAIドリルでの学習に偏っていないとは思いますが、プリント学習をより効果的に活用していただき、特に数学の学力向上に力を入れて頂ければと思います。
- 読書においては読む児童と読まない児童で相当な差が付いていると思いますが、読まない子へ

の興味を持たせる努力は多大なものと感じますが、引き続き思考力、読解力、集中力向上のためにも読むきっかけづくりや本の魅力を与え続けて頂きたいと思います。先生方はご自分から挨拶をされ、常に笑顔を絶やさず指導していると思います。対応が難しい児童もいると思いますが、ひとりひとりに向き合って指導してくださっています。

各行事においても集中力高く積極的に取り組んでいる姿をみています。

くりきたまつりにおきまして多くの先生方のご協力をいただき、大いに盛り上がりました事、先生と保護者、児童が一体になれました事多大なる感謝があります。ありがとうございました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・地域の関係者と学校は良好な関係にあり、学校のメッセージに前向きに参加している。「全ての子供たちのために」のスローガンについては、できることは全て協力していくつもりである。
- ・タブレット毎日持ち帰り、充電と、とても大変に思う。
- ・PTAの負担を減らし、学校でボランティアを募っていつてくれるとありがたい。
- ・学年によって、保護者の子どもに対する感じが違うのか、学校公開もあまり来ない、来られない学年がはっきりしている。
- ・朝起きる時間を決めて遅れ気味の時には、登校時間に間に合わないことを伝えてほしい。保護者が仕事で先にでてしまい、その後遅刻するようになると時間が守れなくなる。親が働く意味について親子で話し合って子どもにも自立を促してほしい。
- ・小学生にふさわしい服装や髪型については、本人の考えなどこれもしっかり話し合うことが良いと思う。子どもの意志ならば良いと思う話を聞き、親として判断してほしい。低学年に関しては親の好みがあるように思うがこれは個性の尊重ではないと言えるのではないのでしょうか。「算数の計算領域が低い」というのは、授業参観でも感じました。これは繰り返し反復するしかないので根気強く指導してほしい。

【ICTの活用】

- ・AIドリルは「どこで間違えたのか、どこから解らなくなっているのか」が分かりにくいのではと感じている。また全体量が見えず見通しが立てにくいせいか、途中で飽きてしまう児童もいる。AIドリルやプリントなど、今後も児童に合う教材を活用してご指導いただきたい。併せて、学年に応じた「情報モラル」を身につける取組みも大切だと思う。

【基本的な生活習慣の定着】

- ・校内のあいさつでは、こちらからのあいさつに児童はとてよく返してくれる。来年度の自分からもあいさつする児童が増えたなら、なお素晴らしいと思う。

【学校行事について】

- ・行事の目的を踏まえた上で、簡素化を進めることは大変良いと思う。
- ・先生方には、日ごろからよく子どもを見て向き合ってくれ、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・持久走記録会の実施方法について、残念だという意見が散見されましたが、私は賛成意見で非常に良かったと思っています。PTAの負担云々ではなく、全員の走る姿、頑張る姿が見る事ができたことで、過去よりも楽しくそして保護者みんなが一体で応援する事ができたためです。

また児童は学校外では名札をつけておりませんので、私たちにとりましてはこのような場が顔と名前を覚える機会でもあります。

C4thH&S は確実に保護者に情報が届くツールでもありますが、重要な情報も簡単なお知らせも一緒になってしまうため、送信側に見てもらおう工夫が必要になると思います。最近では送信される数が多いため、確認がつい後回しになることもあります。システムの問題とは思いますが、送信する組織によって文字の大きさや色を変えるとかアイコンを強調するなど、見やすく検索しやすくなるような提案等を運営にお伝えいただければと思います。

3 その他

- ・道徳の時間などで、いじめの事はたくさん話して欲しい。いじめはなくならないではなく、繰り返し教えてほしい。時間をたくさん使って、子供たちにわかるように伝えてもらいたい。抑止力を発揮してもらいたい。
 - ・1年間ありがとうございました。
 - ・「かきみそあじ+1」の比較では年度初めからだんだんと数字をさげている。毎日指導する方法を教えてください。繰り返しの指導と守るべき学校の決まりは子ども達のために教えてほしい又、家庭の協力がとても大切になる。
 - ・タブレットの普及のせいか字の汚い子が増えている気がします。何か手書きで文章を書く機会を与えてほしいと思います。
 - ・身に着けるもの（ハンカチ忘れや登下校時校帽なし）や生活のきまりについて（校内でのスマホの使い方など）守られていない部分が見受けられる。「学校のきまり」や持ち物・服装のガイドラインは、必要ならば期ごと（春夏/秋冬）に発信していただき、家庭でも協力していただきたい。「きまり」があるのなら守るように努めたい。
 - ・今年度はスクールアシスタントやSSRの設置など、個別支援が更に充実した。
 - ・学校教育診断アンケート結果については、今年度も回答数がやや低いのではと感じている。学校への関心や期待・提案がもっと高くなって欲しいと思う。
 - ・様々な取組や個々の課題について先生方のご尽力、また登校見守りなど保護者のご協力に感謝している。来年度も地域で出来ることがあればぜひ協力したい。
 - ・我々保護者におきましては、朝の見守りでは学年により数字は異なりますが協力的に行ってくださいっております。当番の参加率ですが今年は6年53%、5年65%、4年58%、3年75%となります。低学年は多く、高学年が少なくなる傾向は例年通りですが、引き続き子供たちの見守りに力を入れて行きます。ガスト前を通過する児童が約25名程おりますが、この三月で卒業する6年生が7名います。新入生が何名この場所を通過するか分かりませんが、令和7年度は見守り場所を児童の多い場所に変更することも検討しています。
- PTA活動におきまして先生方のご協力が頂けることは保護者への大きなアピールになります。くりきたまつりしかりサークルのふれあい活動しかりです。先生も子どもも「見える」という事が保護者の安心につながり良い影響を生みます。ご参加いただいた先生方には大変感謝しております。引き続きご協力をよろしくお願い致します。また去年同様になりますが、漢字検定を年二回に戻してもらいたいという保護者の意見が多数あります。更に英語検定を実施してほしいという意見もありました。検定を受ける事は日常の勉強の成果を数値化された確認であり、他の児童たちとの競争意識であったり、子供たちの学習意識の向上や発見、発達につながると

思います。

子供と一緒に検定を受験する保護者もおり、親子で一緒に勉強したりしますので家庭での学習時間の増加にもつながります。また受験慣れにもつながると思います。他校の保護者からも検定があること自体を羨ましがられることもあり、受験できる回数が多いという事は学習意欲の高い学校という目で見てもらえます。栗北小の魅力づくりの一つとして、また学力向上に興味を持つ未就学児の保護者への大きな期待となりますようご検討いただければと思います。

- 教職員の皆様には毎日の授業をはじめ各行事の取り組み、環境整備等日頃からのご尽力に感謝いたします。

今後も「学校開放」のサッカー等を通して栗北の子供たちの健やかな成長を応援致します。皆様方の益々のご活躍と栗北小の発展を祈念いたします。